



# 食器回収の「なぜ？」にお答えします

2020年4月号にも掲載しましたが、回収開始に伴い再度掲載します。

## ◆なぜ？ その1

どうして割れた食器でもいいの？



### 答え

割れていても、欠けていても構わないのは、回収した食器を粉砕するからです。ただし、粉々になっている破片は、もともとの姿や用途を確認できないため、不燃ごみに出してください。破片の大きさがおおよそ2センチ以上の場合には、回収対象にしています。ケガをしないようにお持ちください。



## ◆なぜ？ その2

どうして汚れているとダメなの？どうせ粉にするんでしょ！

### 答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は岐阜県土岐市の食器粉砕専用のプラントを設置している工場に食器原料として運び、砂状にします。

また、粉砕する時には、細かい網目(ふるい)を通すため、汚れ(ほこりを含む)は、この網目をふさいでしまう場合があります、資源化の効率が悪くなります。

ご自宅で洗って乾かしてお持ちください。長く食器棚の中にしまっていたり、箱に入れたままの新品の食器も必ず確認してからお持ちください。「その場で食事ができる」を合言葉に回収しています。汚れている食器はお持ち帰りいただいています。

なお、センターの水道を使用して洗浄することはできません。汚れがとれないものや対象外の食器は各市のルールに従って処分してください。

## ◆なぜ？ その3

どうして陶器なのに食器だけが対象なの？

### 答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は原則として再び食器の原料になります。というより、もっともグレードの高い原料づくりを目指しています。食器は直接、人の口や食べ物が触れるため、衛生面で心配のない作り方をしています。

グレードの高い原料であれば、たとえ食器にならなくても用途はいろいろありますが、逆に、花びんや灰皿、衛生陶器(便器など)などが入ってしまうと、食器の原料にすることはできません。

食器リサイクルは全国でも例の少ない事業です。私たちの地域が模範になるようにご協力をお願いいたします。



## ◆なぜ? その4

どうして三市(八王子市・町田市・多摩市)の人しか持ってきちゃいけないの?

### 答え

エコにこセンターは、三市の施設です。ごみや資源の回収は自分が住んでいる自治体のルールに沿って、その自治体の回収に出します。隣の市の分別方法が便利だからといって、自分が住んでいない市にごみや資源を出すことはできません。

## ◆なぜ? その5

どうして毎回アンケートを書くの?



### 答え

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。そこで、どの市の方にとどのくらい利用していただいているのかを知りたくて回収をはじめたときからほぼ同じ項目で調査しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

## ◆なぜ? その6

回収した食器で作ったお皿やカップはどこで買えるの?

### 答え

回収した食器を原料の一部に使用した食器を「Re 食器」と呼んでいます。岐阜県東濃地方の美濃焼生産者が中心となって家庭で気軽に使用できるデザインの食器を作っています。

エコにこセンターでは、これら「Re 食器」の普及にも積極的に取り組んでいて、館内にコーナーをつくり、展示販売を行っています。

裏にエコマークがついていたり、回収食器の含有率を示す表示や「Re」のマークがあるものも多く、食事やお茶の時間の話題にさせていただけるととてもうれしいです。

また、「Re 陶土」を使った作陶体験として、こうさくの時間“陶芸”、親子陶芸体験教室の他、「おとなのための工作教室」では、講師の指導を受けながら豆皿などを作陶するプログラムもあります。「Re 陶土」は5kg単位で販売していますが、購入希望の場合は、量と来館日時をお知らせください。



## お知らせ

施設内工事のため、下記の講座が中止・変更になります。

2021年 1月6日(水)こうさくの時間“陶芸”

→1月26日(火)に変更

1月7日(木)さき織り体験教室 → 中止

1月8日(金)お花の教室 → 中止

1月開催の3R講座参加とエコにこマーケットの申込みは

11月1日(日)10時から電話または窓口で受け付けます。

詳細はホームページをご覧ください。

・3R講座……………<https://www.tama-seisokojo.or.jp/econico/koza>

・エコにこマーケット……………<https://www.tama-seisokojo.or.jp/econico/market>



3R講座



エコにこマーケット

## 清掃工場だより「清掃工場って実は・・・」

今年は、コロナの影響で小学校の施設見学の受入れができなくなり、見学に来た時の子供たちの元気な声が聞こえない日々を初めて過ごしています。こうなって初めて子供たちの元気な声に大きな力をもらっていたんだな—とつくづく実感しています。

新しい生活様式の中で、今までと同じような施設見学は難しいなか、少人数ですが(月曜日:10名まで。火～金曜日:30名まで)8月11日から見学の受入れを再開しています。

出されたごみの持っているポテンシャルについて伝えたり、ごみクレーンの大きさを直接肌で感じてもらったりできる工夫ができたらいいな—と考えています。

ここで清掃工場のとっておきの秘密を・・・。

「実は、ごみを燃やした熱で電気を作って、こんなに儲かっています。」(約1億6,300万円)

「実は、ごみの中から金属を回収して、こんなに儲かっています。」(約2,800万円)

「実は、儲かったお金は、ごみ処理するために使われています。」

「実は、ごみをつかむクレーンは、ひとつかみで収集車2台分のごみをつかむことができます。」(約3t)

まだまだ清掃工場の「実は・・・」は沢山あります。こんなのが知りたいな—、こんなのが見たいな—、どんなことでもいいので、電話やメールでの問い合わせはもちろんですが、お時間があれば気軽に直接工場に遊びに来てください。

\*\*\*\*\* 多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場

### センターからのお知らせをメールでお届けします

エコにこセンターでは、エコにこニュース、HP、ツイッターなどを通してイベントや講座などのお知らせを発信していますが、より多くの方たちに届けるため、希望の方に直接メールでお知らせをお送りしています。

ご希望の方は必要事項を書いてメールを送ってください。

- 件名→メール登録 ※必ず件名をつけてください。
- 本文→名前(ニックネーム可)、住んでいる自治体名(八王子市在住など)

送信メールとは別のアドレスで受信したい場合は受信希望のアドレス

メールを受け取り後、登録確認メールをお送りします。ただし、休館日等により即日返信できない場合があります。1週間程度過ぎても返信が届かない場合はご連絡下さい。

申込先メールアドレス recycle@tama-seisokojo.or.jp

〇ツイッターをフォローしてください!!

「タマちゃん@エコにこセンター」 <https://twitter.com/econico1>

---

### 編集発行 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター

ニックネーム エコにこセンター (10時～15時 月曜休館)

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。

センターの運営業務は特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦が受託しています。

TEL 042-374-6210 FAX 042-374-6214 206-0035 多摩市唐木田 2-1-1

電話対応時間は、10時～17時です。

メール recycle@tama-seisokojo.or.jp HP <https://www.tama-seisokojo.or.jp>

★このニュースは再生紙を使用しています★

